



参加レポート

こども映画教室「火星の旅」

去る2月5日(日)~8日(水)にかけて、
せんだいメディアテークで子供を対象とした
映画制作講座が行われました。

この講座は数年前から行われている
「こども映画教室」の企画として行われ、
事前に募集した子供達と、通りがかったりした
子供達が自由に参加して行われました。



▲コマドリ撮影の様子

今回のテーマは「コマドリアニメーションで映画を作る」。初回で登場するキャラクターを作り、
数日掛けてコマ撮りアニメーションで撮影して映画にすると言うもの。スタッフとして参加しました。
これまでも影絵や逆転撮影、ゾートロープ等様々な活動を行ってきた中、はじめて映像を「作品」と
して作ってみようと言うところみです。参加した子供達はみんなでわいわい騒ぎながらあそんだり撮影
したりと言った具合。とにかく楽しい数日間でした。

こちらが黙っていても子供はお話をそれぞれ作って撮影したり人形を動かしたりします。
すごく楽しいのですが、みんなで意見を語り合ってお話をまとめるにはちょっと時間が足
りないので、参加した自分やボランティアの皆さんがフォローして、今回は完成しそうです。

作品は、メディアテークに収録されて、希望する方は借りてみる事ができるようにするそうです。
来月3月にはこれまでの総決算的なものも予定されているようなので、興味のある方はメディアテーク
に問い合わせてみてはいかがでしょうか?

メディアテーク配布中のちらしまたは下記問い合わせまでどうぞ。(きしなみ)

問い合わせ せんだいメディアテーク 管理係 電話番号 [redacted]
ファックス [redacted] 受付時間 午前9時から午後10時まで。

<http://www.smt.city.sendai.jp/kodomo/ibasho/eiga2.html>

前野健一監督作品集
絶賛発売&レンタル中

book cafe 火星の庭

2月26日にメディアテークで上映会を開く映像クリエイター・前野健一さんは、実はcafeのマスターでもあります。
BookCafe「火星の庭」は仙台市内でも人気のあるcafe
ですが、そこで毎日マスターをしていらっしゃいます。

(愛な日本語かな?/意味なく上の記事と火星繋がりました。)
美味しいお茶や食事と、「わかっている」品揃えの本も
さることながら、今話題のマスターの作った映像作品も
ここで入手する事が出来ます。現在揃っているのは、
今回上映される「88(ダブル)エイト」の1・2巻と
短編集の「毎日が総進撃」の3タイトル。
レンタルも販売もありで、現在はVHSのみとなっています
が、詳しいお問い合わせは下記までどうぞ。



▲小さくてすみませんが「火星の庭」店内です。



▲小さくてすみませんが短編集より「電磁車」。

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-30 ラポール錦町1F 定休 毎週水曜・第2火曜
tel 022-716-5335 fax 022-716-5336 営業時間: 11時~20時(日・祝日は19時まで)
HP: <http://www.kaseinoniwa.com> mail: kasei@cafe.email.ne.jp

インディーズフィルムシアター

ifc 1月29日上映会レポート

さよなら「仙台シネアスト」!

去る1月29日(日)せんだいメディアテークで、
「最後の」仙台シネアストの上映会が開催されました。

上映作品は、現在話題の3DCG特撮映画「惑星大怪獣ネガドン」、静かで美しくて
ちょっと怖い幻想的な3DCG作品「カクレンボ」。そして1989年以に公開され、
当時のインディーズ特撮ファンを熱狂させた伝説の8ミリフィルム特撮作品
「目覚めよと呼ぶ声あり」の3本立て(1)でした。

特に、「ネガドン」と「目覚めよ~」の2本は、20年近い年月を挟んだ同
ジャンル対照作品でした。かたや、当時のできうる限りの技術と労力で、8ミリ
ベースでのオプチカル合成/フロントプロジェクションをねじ伏せ、気が遠くなる
量のミニチュア&スケールモデル・銃器を作り上げ、使い切った伝説の超大作。
かたや、最新の技術&少数精鋭で細心に練り上げられた愛情溢れるCGと、それに
まけない骨太で濃いストーリーをあわせ持つ「実写は一切使わない特撮映画」!
このラインナップには思わず男泣きしたジャンルファンもいたのでは?

会場は午後1時。天候に恵まれたり、イベントがあって鐘にいらっしゃる人が多
かった事も重なり、最終的には97人とありがたい入りでした。
ちょっとした手違いで事前にちらしを配付する事ができなかったのですが、仮配
付のフライヤーを河北weeklyさんに取り上げて頂いたり、それに連動してDateFMの
番組で取り上げて頂いたおかげで、沢山の方に作品を観て頂く事が出来ました。
河北weeklyの皆様、DateFMのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

- ・「カクレンボ」/短い時間でしたが背筋に来る恐怖感を上映中ずっと感じていま
した。画もきれいで妖しくてエキゾチックで良かったです。(20代女性)
- ・「目覚めよと~」/かいじゅうがかっこよかった(8歳男性)
よくそ作り込んだものだと感心しました。フィルムの質感が全体のバランスの
良さになっていると思います。駐車場でのカーチェイスは、良く日本で撮影
できたと思いました。使った車も高価なものでしたし。(40代男性)
- ・「ネガドン」/ロボット発進シーンが!(20代男性)ドリルが!!(40代男性)
王道だと思います。25分でこれをまとめるのは凄い。(20代女性)
レトロフューチャー!面白い!理屈抜きにしたい。この作品を正統派サブカル
とか言う人とは決して分かり合えないと思った。(30代男性)・・・など。 おおむね楽しんでいただけた様です



▲「カクレンボ」

思えば長い上映活動だったかもしれません。シネアストとしては約10年。
これまで上映させて頂いた作品の監督の方々も、プロとなった方もいれば、
映画を思い出として全く別の舞台で活躍なさっている方、また、趣味として
現在も作品を作り続けている方など様々で、時間の流れを感じざるを得ません。
この10年またぎの「シネアスト」が終わると言うのは、89年に母体である
「シネサラダ」を立ち上げ、95年に「シネアスト」を作った本人でもある私に
とっても感慨深いものがあります。シネアストはなくなりましたが、これからも
独立レーベル「リアスフィルム」として映画製作と上映等に関わってゆきたいと
思っております。 凄人たちもどんどん出て来ていますので、
来期からも仙台インディーズ映像のムーヴメントに御注目ください。

最後に、この数年間シネアスト代表として頑張ってくださった
阿部勇君はじめ、シネアストスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした!
(きしなみ)



▲「惑星大怪獣ネガドン」



▲「目覚めよと呼ぶ声あり」

ここしばらくの インディーズ情報

2月18日(土)

東北大学学友会映画部
De・バルマ番外上映会

「DROP OUT PROJECT」



▲「フライパン」

せんだいメディアテーク7Fスタジオシアター

■入場無料 ■11:30開場

・12:00 /16:45 最果てにて...13:15 /18:00しのうか

・14:10 /18:55フライパン...15:30 君の声/新世界

■開 090-9170-5246 デバルマ(福葉)

<http://dropoutproject.com>

2月19日(日)

東北大学学友会映画部
De・Palma 四年生上映会
「休日の終わるころ」



▲「咖啡牛乳」

せんだいメディアテーク7Fスタジオシアター

■入場無料 ■開場11:30

☆個人作品/12:00~

★企画作品/5:15~16:30~

■開 090-6137-2133 De・Palma (西島)

<http://www.depalma-online.com/~endofholiday/index.html>

インディーズフィルム スタジオ開催中!

・まず、自分の意志があって、何かイベント
をやってみたり作品を作ってみたり
方・新聞製作やHP製作のできる方、お待ち
しております。サークル活動ではないので、
自分探しはちょっと御遠慮願います。

詳しい問い合わせは奥付アドレスまで!